

あづみの水結

湧き水だけでなく、川や水路などさまざまな形で水が暮らしのすぐそばにある安曇野。その豊かな水を守り、魅力を発信するネットワーク「あづみの水結」の活動を紹介しします。

水文化を守る「あづみの水結」

あづみの水結は水を育む環境や地域に根付いた水文化を守り、魅力を発信する個人や団体が参加する市独自の登録制度です。2022年から始まり、現在は個人や地元の企業、学校など31者が加入しています。

活動は湧水地など水辺の清掃や子ども向けの水めぐりツアーでの解説、農薬を減らした農作物の栽培など自分の得意分野を生かして、できる範囲で行います。今後はあづみの水結を通じて、安曇野の水環境の現状や保全の取り組みなどを多くの人に広める活動に力を入れる予定です。

幅広い世代やさまざまな団体が緩やかにつながり、協力して一緒に安曇野の水環境を育み未来へ引き継ぐ……。それがあづみの水結です。



参加するには

あづみの水結には18歳以上の個人や団体、企業が参加できます。住む場所や拠点が市外でも登録できます。

登録には申込書の提出またはながの電子申請サービスから申請が必要です。登録の要件など詳細は市HPをご覧ください。



市HP ながの電子申請サービス



活動リポート①

憩いの池清掃体験

安曇野わさび田湧水群憩いの池では、市とボランティアによる清掃が定期的に行われています。7月11日に行われた清掃活動には、学校としては初めてあづみの水結に加入した穂高商業高校の生徒も参加。水面に映るまぶしい日差しに目を細めながら、約30人の参加者が熊手で池底の藻やごみをさがしました。

清掃を終えた同校3年の中村蓮さんは「僕らにしたら当たり前の安曇野の風景や水を、これからも守っていききたい」と、中山楓輝さんは「水路や池にごみを捨てないでほしい」と話してくれました。

Memo 名水百選の清らかな水
清掃活動を行った「安曇野わさび田湧水群」は、環境省の名水百選にも選ばれている安曇野の湧き水を体感できるスポット。年間を通じて水温13度前後を保つ冷たく澄み切った水と涼し気な景色が楽しめます。



活動リポート②

水めぐりツアー

8月1日の「水の日」に合わせて水めぐりツアーが開かれ、親子10組23人が参加しました。当日は、烏川渓谷緑地とゴールドバックあずみ野工場、田淵行男記念館を回り、安曇野の地下水の仕組みと水生生物の生態を学びました。

田淵行男記念館で、約15度の水が湧く湧水地に入った子どもたちは、きれいな水でしか見られない生き物を次々と捕まえ歓声を上げていました。ツアー最後のお楽しみは、サンリンI&F株式会社と株式会社スドーから提供されたオール安曇野産のかき氷。参加した親子は甘い特製シロップをのせた安曇野の天然氷のかき氷に舌鼓を打っていました。

子どもたちは「泡が出ているところから水が湧いていると知り、水の道のりを想像できて楽しかった」、「この環境が当たり前ではなく、ありがたい環境だと感謝し大事にしていきたい」と話し、笑顔を見せていました。



安曇野生まれのかき氷おいしい！



水を育むためにできること7選

大切な地下水を守り、恵みを次の世代へつなぐために普段からできることがあります。

- 1 水循環の仕組みを学ぶ
- 2 職場や家庭で節水を心掛ける
- 3 地元のお米を食べる
- 4 ゼロカーボンに向けた取り組みを行う
- 5 雨水タンクを活用する
- 6 洗剤や農薬は適量を守る
- 7 コミュニティの河川清掃・森林整備に参加する



Check

水結の活動をSNSで発信中！
市内の水に親しむスポットや暮らしに役立つ水の豆知識、イベント情報などを発信しています。



X



Instagram

Info

2025年大阪・関西万博で安曇野の水をPRします

安曇野の水環境と魅力を伝えるブースを出展し、地下水の仕組みを映像と模型で紹介しします。

期9月23日(火)～29日(月)

場会場内フューチャーライフエキスペリエンス

因▷安曇野の水環境を紹介する映像の放映
▷北アルプスと松本盆地のジオラマ展示ほか



万博で展示紹介したジオラマと映像は環境フェアでご覧いただけます。
(28・29ページ参照)

大阪・関西万博公式キャラクター
ミャクミャク©Expo 2025